

「沖縄マリンブルーアクティブキャンプ」に 参加した子どもの保護者からのお手紙



去る8/7～8/11は「沖縄マリンブルーアクティブキャンプ」に参加させていただき、ありがとうございました。

元々色黒の息子がさらに真っ黒になって目をキラキラさせながら“やったぜー！”と少し得意げな表情で帰って来たときは、ちょっとだけ大人に近づいたのかなと思えました。

電気もガスもない無人島での生活は、彼にとってはじめてのことばかりで、普段になげなく使っているものがどれだけありがたいものであるか、他の人と協力しなければ何も進まないことか、身にしみて理解したようです。

きれいな海と、海中の（福島の海にはいない）あざやかな魚のこと、火起こしに30分かかったこと、満天の星の下で新しい友達と語りあったことetc

あれから2週間が経とうとしているのに、いまだに生き生きと語ってくれます。彼にとって一生の良い経験となりました。応募動機の“自分への挑戦”は、どの程度達成出来たかは分かりませんが貴重な勉強の場になりました。きかんぼうの息子を、そして福島子ども連を5日間もの長い間ご指導頂き本当にありがとうございました。

福島県から参加した小学6年生（当時）の保護者より

この度は、大変お世話になりました。又、たくさんの思い出を写真に撮って頂きありがとうございました。

今までも、学校を通して色々な参加募集のおたよりがありましたが、スルーしてしまうものばかりでした。今回の参加の決め手は、少人数だったことです。密度の濃い付き合いが出来るのではと思ったからです。4泊5日では何も変わらないと思っておりました。実際家では何も変わりません。

息子は和太鼓を習っております。そこで練習を見てくださる方に、沖縄から帰ってきてから「すごく変わった」と聞きました。まず、あいさつの声が大きくなった事。指導者からの質問に一番に答えを発言していた事。以前にはない事でした。

親には見せない外の顔は、少し大人に成長してくれたのかと思い、うれしくなりました。（親にも見せてほしいのですが・・・）

スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

福島県から参加した小学6年生（当時）の保護者より

「沖縄マリンブルーアクティブキャンプ」は放射能の影響に苦しむ福島県の子どもの心身の健康を癒え、リフレッシュを回すためのキャンプとして開催したものです。

- 期日 平成25年8月7日（水）～11日（日）4泊5日
- 場所 沖縄県選抜会場 国立沖縄青少年交流の家及び鶴巻島（無人島）

がんばろう日本!

GANBARO NIPPON

がんばろう東北!

GANBARO TOHOKU

東日本大震災復興支援



3.11 わたしたちは忘れない

国立沖縄青少年交流の家 職員一同